

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ワーク・ステップ	事業所番号	2315102042
住所	豊橋市三本木町字新三本木 3 1 番地	管理者名	永田 竜也
電話番号	0532-39-3038	対象年度	令和 5 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所：主にワーク・ステップ相談室 実施日程：令和5年4月～令和6年3月（随時） 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 就労支援～一般就労への移行～職場定着支援 利用者数：この事例に関しては、1名 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 発達障害の利用者に対し、就労支援の進捗状況によって、適宜確認作業を行って、本人にフィードバックするという手法で、潜在的な能力の引き上げを行う。 利用者にとってのメリット 障害特性から、利用者本人が十分理解していない状況で話が進んでしまわないように適宜確認作業のサポートを支援者側が行うので安心感が得られる。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 実施した結果：本人が自分の仕事について十分理解した。 得られた成果：一般就労への移行に繋がった。 課題点：本人の不利益にならないよう慎重に進める必要があった。 	<p><活動の様子> 事例 1</p> <p>※HW求人等から就職に繋げる王道の就職支援とは違う形での就職支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事例 1 Aさん：27歳（女性） 障害：発達障害（ADHD）、うつ病 ●就職支援の経緯（利用開始から1ヶ月経過） <p><4月>「美術関連の求人を扱っている会社に登録しました」と報告あり。（思い立ったらすぐに自己判断で進めてしまう傾向が強いため「決定」する前の報連相を約束事とした。</p> <p><5月>インスタグラムに載せた絵に興味を持った方から「イベントで絵を飾りたい」と申し出があり展示に至る。（その後、同様の機会が何度かある）</p> <p><7月>聞き慣れない雇用形態の企業の話で相談あり。まずは、その雇用形態について調べて本人に説明。</p> <p><8月>数回の展示後、企業から面接のオファーあり。勤務形態等の情報が少ないため、勝手に決めず何か動きがあればその都度報告するよう再度促す。暫くして、企業の担当者に会うことになったようなので、こちらの連絡先及び確認したい内容を伝える。（口頭では忘れてしまうので書面で渡す）後日、雇用契約の内容を社労士にも確認してもらい、問題がないか確認する。</p> <p><9月>面接（頭の中で整理して話すことが苦手なので、事前に想定問答で練習）→採用内定。入社時に必要な書類の作成サポートを行う。</p> <p><10月以降>10月1日付で採用。随時、職場定着支援を行う。（直接来社、メール、電話等にて相談支援：当初は、月に4回程度実施）</p> <p>※定着6ヶ月の頃には市内の「こども未来館」にて絵の展示を行うほどの成長を見列となる。</p> 
---	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

●連携した結果に対する意見または評価	
創作活動（絵画等）に興味のある企業に、そういった能力のある方を斡旋し、在宅雇用という新しい形態での障害者雇用	
に繋げる。前例がない雇用形態でもあったので、支援施設が間に入って慎重に進めることが出来た。	
●今後の連携強化に向けた課題	
支援施設が進捗に合わせ、介入や助言を行わなければ、本人が内容を理解しないまま話が進んでしまう懸念あり。	
連携先企業（担当者）	●●●●●●●株式会社 Tさん

利用者からの意見・評価

●参加した利用者からの意見・評価
<p>周囲に絵の仕事のことを批判された時「頭の中がぐるぐるしてて、なんだか苦しいです。そんなに絵の仕事だとダメなんですか？何がそんなに低く見えるんでしょうか？」といった悩み相談があり。人のことを色々言う人は世の中たくさんいますが、自分を信じて進んでください。あなたの絵に興味を持ってくれた人がたくさんいたことを思い出してください、と励ます。</p> <p>↓</p> <p>「ありがとうございます。自分の絵のファンもいるから、腐ってる場合じゃないです。頑張ります。今日も一日頑張ります。」</p> <p>「夢フェスティバルで賞を頂けるまでになりました。私の絵に触れている時間は楽しい時間になってほしいです」</p>